

資料 6

総合的病害虫管理（IPM）の概念（案）

- 総合的病害虫管理とは、抵抗性品種の導入等により病害虫の発生しにくい環境を整備するとともに、発生予察情報の活用等により病害虫等の発生状況を把握し、各種の防除手法を組み合わせることで適切、かつ効果的・効率的な防除を実施することを通じ、病害虫の発生を経済的被害が生じるレベル以下に抑制し、かつ、その低いレベルを持続させるための総合的な病害虫等の管理手法である。
- 総合的病害虫管理は、化学農薬のみに依存せず、各種の防除手法を適切に組み合わせることで、化学農薬による病害虫の薬剤抵抗性の発達、天敵の減少に伴う害虫の異常発生を抑制するとともに、環境負荷を軽減しながら病害虫の被害を防止し、農作物の安定生産に資するものである。

○総合的病害虫管理（IPM）による防除体系

